

熊本地震被災地の教育研究継続支援に関する先遣調査（第1報）

「平成28年熊本地震」により犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

香川大学では、4月25日～27日にかけて工学部井面教授、高橋助教、地域強靱化研究センター磯打特命准教授、高橋技術補佐員が被災地に在学する学生のみなさまの教育研究支援を目的に、熊本市内の大学のご協力をいただき先遣調査を実施いたしました。

調査では、避難所となっている大学施設の運営状況、学生ボランティアの活動状況、教職員・学生の安否確認状況などを確認いたしました。避難所の運営にあたっては、学生や教職員の専門性を活かした要支援者対応や2か国語による情報掲示などの大学ならではの対応がなされていました。

香川大学ではこの調査結果をもとに、現地の大学と連携して地域の要望に即した支援を実施してまいります。



避難所となっている熊本大学黒髪キャンパス体育館 学生が作成した2か国語による掲示



黒髪キャンパス体育館で運営に携わっている教育学部の学生のみなさん